

（別添１）令和７年度（第２回） 「自然共生サイト」認定結果（信越自然環境事務所管内）

No	新規 移行	計画名称 (サイト名称)	認定タイプ	申請者名	サイト所在地		活動概要
					都道府県	市町村	
1	新規	軽井沢の自然と生態系も豊かにしながら暮らす家 (長野県北佐久郡軽井沢町周辺、フォレストコーポ レーションの建設した住宅の庭)	創出	株式会社フォレストコーポ レーション	長野県	北佐久郡軽井沢町	開発以前の２次林の環境を維持しつつも日当たりの良い草原性環境を再現し、地域在来の蝶や鳥を呼び込めるようにし た軽井沢町内の（株）フォレストコーポレーション軽井沢支店敷地内の庭を軸に、今後、同社が同町内で建設する建売 の住宅に在来性の草本・木本を植栽し、軽井沢を代表する「アサマシジミ」「アサギマダラ」といった蝶を呼び込める ようにする。町内に生物多様性に配慮した庭を点在に整備することで、小さな庭がモザイク状につながり、森と森を繋 ぐ回廊の役割を果たすことで、地域の多様性を生み出す未来を目指していく。
2	移行	サンクゼールの森生物多様性維持活動 (サンクゼールの森)	維持	株式会社サンクゼール	長野県	上水内郡信濃町	50年以上を経過した自然度の高い落葉広葉樹二次林、カラマツやスギといった針葉樹の人工林もパッチ状に存在するな ど非常に多様性に富んだ「サンクゼールの森」において、エリア内の自然環境に基づいたゾーニングを行い、ゾーニン グに応じた整備や管理を行うことで、社員、地域住民の憩いの場、緊急時の避難場所、社員の創造性をはぐくむ場、そ して豊かな自然環境の保全と人間との共生を目標とする。
3	移行	大峰高原生物多様性保全エリア保全活動実施計画 (大峰高原生物多様性保全エリア（白樺の森・七色 大カエデ周辺）)	維持	大峰高原里山整備利用推進協 議会	長野県	北安曇郡池田町	かつて草原環境であった大峰高原は、戦後、開拓団の入植やリゾート化計画など土地利用の変遷を経て樹林化が進行し ている一方で、七色大カエデ、白樺の森といった自然資本を生かした観光地となっている。この大峰高原において、里 山の整備・利用活動を通じ、自立的かつ持続的な里山の管理を図り、地域の活性化に資するほか、二次的な環境とそれ に依存する動植物の保全に努め、生物多様性の観点から「豊かである」といえる自然環境を維持していく。